

S/F REAL4

Q&A

 あい ホールディングスグループ 

株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC



ベースの高さを一括で設定したい！

キープランの階高の上下で設定ができます。

例) ベースの高さが GL-150 の場合

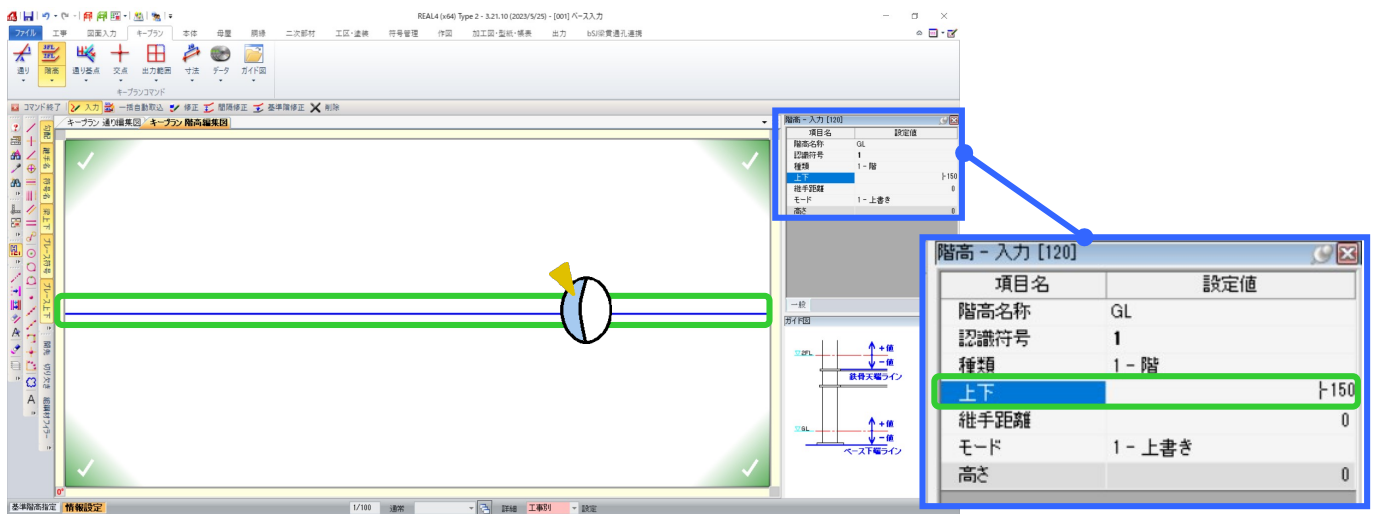
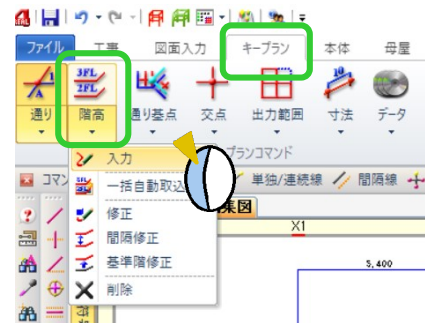
【キープラン】 - 【階高】 - 【入力】 をクリックします。

画面にある横線（基準階のライン）をクリックします。

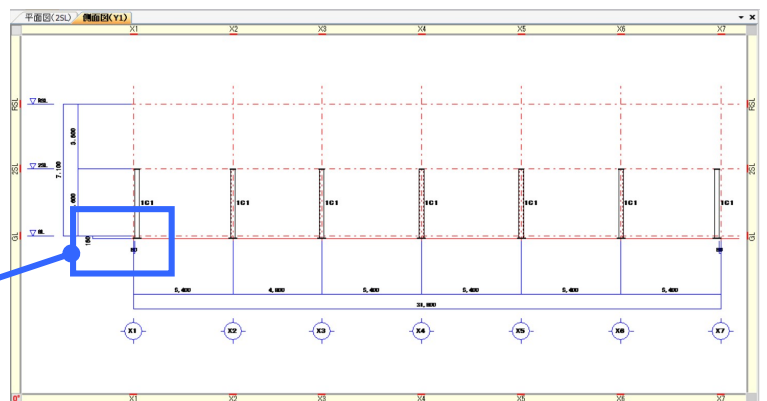
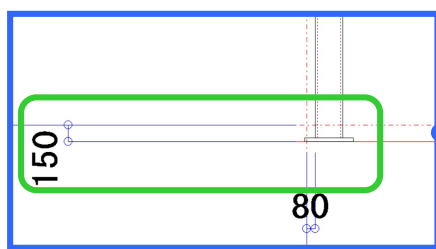
右側の入力シートで階高名称などを入力。

【上下】 に GL からベース下端までの数値を入力します。

今回は GL-150 なので、-150 と入力してください。



階高を入力後、本体で本柱・間柱を配置すると、キープランの階高の上下で設定をした位置にベースの下端を揃えることができます。



<階高を入力済みの場合>

【キープラン】 - 【階高】 - 【修正】 で GL の階高ラインを選択、【上下】 に数値を入力してください。

階高を修正すると、配置済みの部材も階高で設定した数値を反映します。

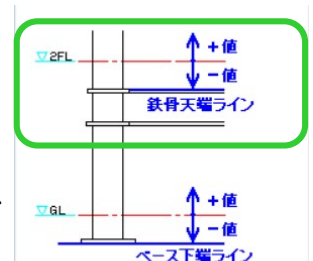


<上下について>

GL 階(基準階)以外の上下数値では階高から鉄骨天端までの数値を入力します。

2FL より鉄骨天端が 150 下がりの場合、2FL の階高を入力する際、

【上下】 に -150 と入力してください。



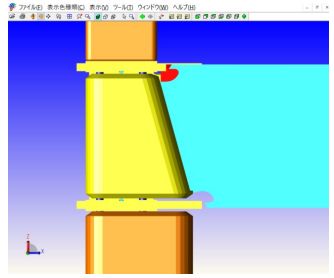
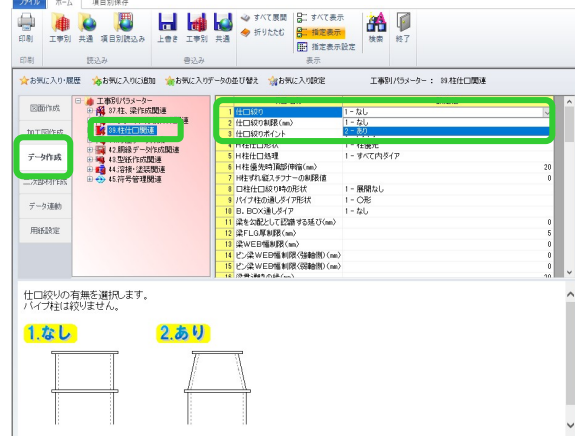


仕口を絞りたい！①

パラメーターで設定できます。

【ファイル】 - 【パラメーター】をクリックします。

【データ作成】 - 【39.柱仕口関連】 - 【1.仕口絞り】 2-ありを選択します。



【1.仕口絞り】 2-あり に設定していても、【2.仕口絞り制限(mm)】で、下柱と上柱のサイズ差が指定値以下では絞れません。またそのポイントは【3.仕口絞りポイント】での指定値となります。

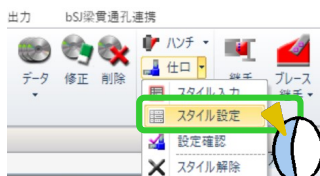


仕口を絞りたい！②

仕口スタイル設定でできます！（個別で設定したい場合）

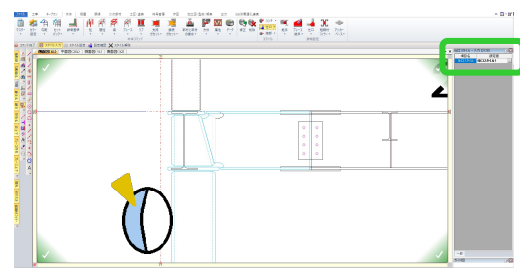
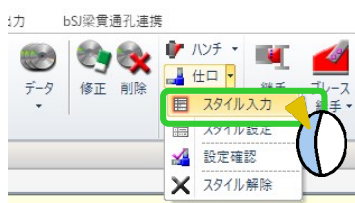
【本体】 - スタイル【仕口】 - 【スタイル設定】 から、追加をクリックし『スタイル名称』を入力します。

柱仕口関連タブの 1.仕口絞りに ☒ を入れ【2-あり】を選択し、OKをクリックします。



【本体】 - スタイル【仕口】 - 【スタイル入力】 をクリックし、絞りたい仕口の柱をクリックします。

入力項目から、登録したスタイル名称を選択します。四隅の☑をクリックします。




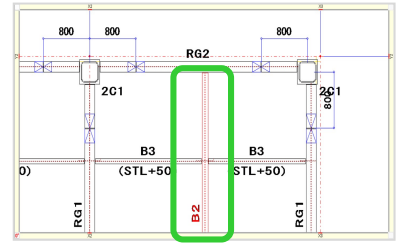
梁などの部材が赤色で表示されてしまった！ 接続先情報変更で修正できます。

REAL4 で入力したデータは全て入力順に自動的に ID が付与されており、梁などの部材の接続先は部材名ではなく ID で認識しています。

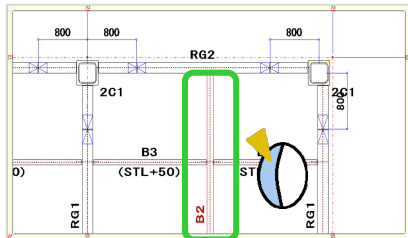
例えば RG2 を削除後、再度同じ位置に RG2 を配置しても後から配置した RG2 は先に配置されていた RG2 と ID が異なります。

そのため B2 は接続先の ID の梁がないためエラー色の赤色で表示されたままです。

エラーになっている B2 の接続先の部材の ID や、その部材に割り当てられた ID は  【照会】で確認できます。



【照会】をクリックし、赤くなった B2 をクリックすると、B2 の接続先の情報が入力シートの【接続情報】で確認できます。今回は B2 の右側の接続情報は削除前の RG2 になっているため、梁 [ID=41] になっています。

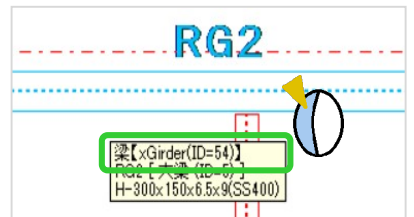


右側	
継手距離	0
継手(右)	(B.J20)マスター参照
すきま(右)	(10)マスター参照
ハンチWEB基準	1 - (マスター)自動決定
垂直ハンチ合わせ	1 - 自動
接続情報	梁 [ID = 41]

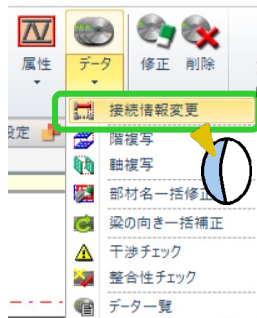
また、部材自体の ID を確認したい場合は【照会】をクリックした状態で部材にマウスを合わせると画面上に ID が表示されます。

RG2 にマウスを合わせると梁 [ID=54] と表示されます。

そのため B2 の右側の接続情報を梁 [ID=54] に変更すればエラーが修正されます。



【データ】 - 【接続情報変更】をクリックし B2 の接続情報を変更します。



接続情報変更の手順は入力シートの【手順指定】で変更できます。

要素⇒接続部材は B2(子梁)⇒RG2(親梁)の順で選択します。

接続部材⇒要素は RG2(親梁)⇒B2(子梁)の順で選択します。

大梁についている小梁が複数赤くなっている場合は、

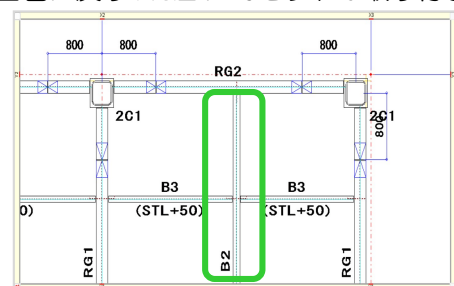
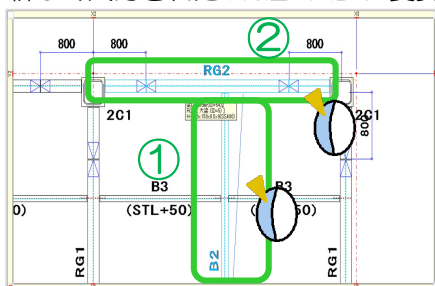
接続部材⇒要素を選択するとクリックする回数が少なく修正できます。



要素⇒接続部材にしている場合、①赤くなっている B2 の上側（右端部）をクリックします。

②下のほうからグレーの線が表示されマウスについてくるため接続先の RG2 をクリックします。

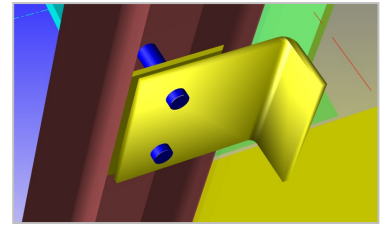
接続先が新しく入力された RG2 の ID に変更され、B2 の部材色が白色に戻り RG2 にガセットが取り付けます。





リップ側フィラーの設定をしたい！

胴縁・母屋マスターで設定ができます。

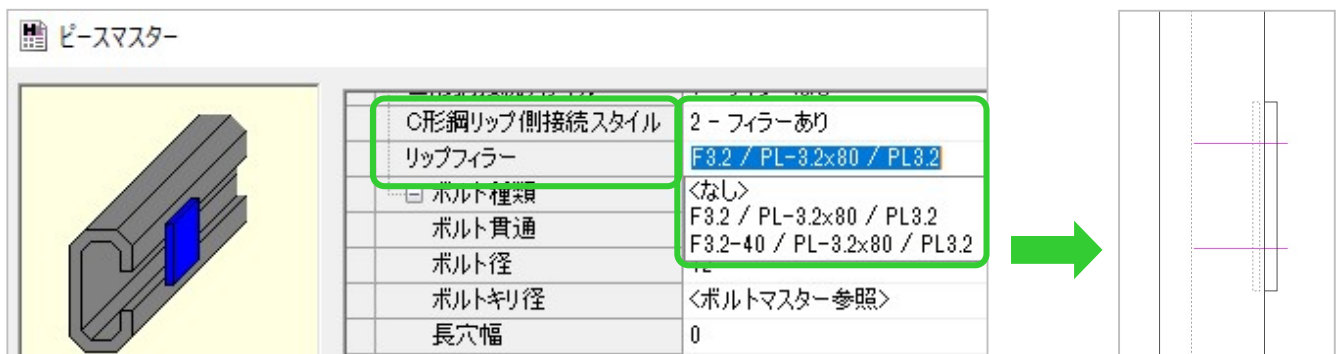


【胴縁】もしくは【母屋】タブにてマスターを開き、【ピースマスター】を開きます。

リップ側フィラーを設定したいピースの部材名をダブルクリックし、編集画面を開きます。

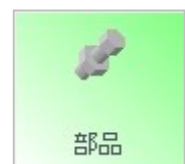
部材名	ピース種類	材種・サイズ	材質	メモ
N1	支持ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
NTJ	接続ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
K1	コーナーピース	コンピース - 55x40x3	SS400	KP2-80-3.2S

【C形鋼リップ側接続スタイル】を【2 - フィラーあり】と設定し、【リップフィラー】にフィラー板を設定すると、ピースがリップ側配置時にリップフィラーが配置されます。



フィラー板の登録について

【リップフィラー】の項目で選択できるフィラー板は、あらかじめ【部品マスター】にて登録されています。別サイズを使用されるときは【部品マスター】で新規登録をしてください。



<ピースマスターで名前を付けてから部品マスターで登録する場合>

【ピースマスター】にて【リップフィラー】

項目へフィラー板部品名を新規入力した後、

【部品マスター】で部品種類を【9 - 腹側フィラー】としてフィラー板を登録します。

○形鋼リップ側接続スタイル	2 - フィラーあり
リップフィラー	F3.6
□ボルト種類	4 - BTN

部材名	部品種類
F3.6	腹側フィラー(内側)
部材名	F3.6
管理名	
部品種類	9 - 腹側フィラー

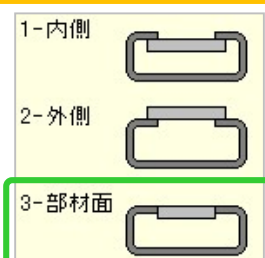


既製品リップフィラーについて

現在、REAL4 では既製品のリップフィラーには対応しておりません。

使用したい場合は、既製品に近い形を【部品マスター】にて作成し、

【フィラー位置】は【3 - 部材面】を選択し、登録をしてください。

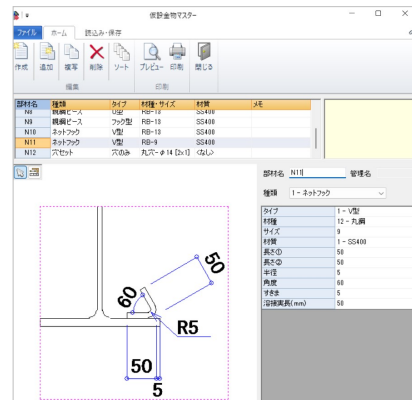




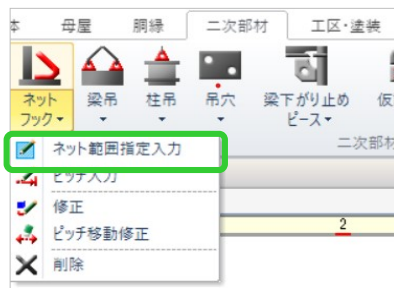
ネットフックを入力したい！

二次部材のネットフックで入力ができます。

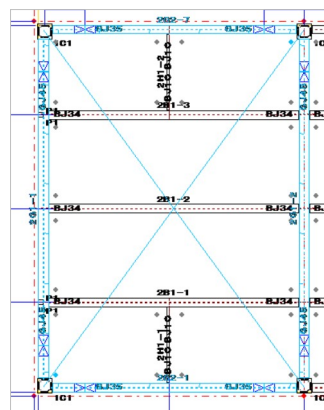
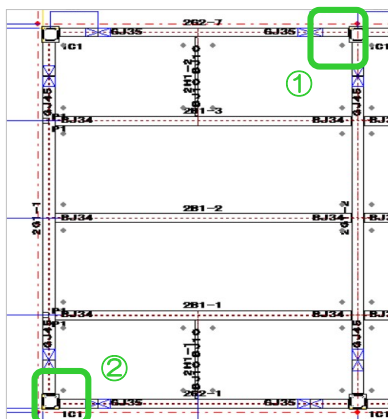
【二次部材タブ】 - 【二次部材マスター】 - 【仮設金物】でネットフックのマスターを登録します。



【ネットフック】 - 【ネット範囲指定入力】をクリックし、
入力シートで部材名と接続鋼材部位を選択します。



基準点となる①のグレーの●と二つ目の基準点となる②のグレーの●をクリックして配置決定します。



ネット範囲指定入力でのピッチは【パラメーター】 -
【二次部材作成】 - 【ネットフック】で設定ができます。
※入力後パラメーターの変更をしてもピッチは変わ
りません。先にパラメーターの設定をしてください。

	項目名称	設定値
1	割付け寸法 第1間隔<mm>	150
2	割付け寸法 第1間隔【梁接続】<mm>	150
3	間隔<mm>	1000
4	継手部間隔<mm>	400
5	継手部間隔基準	1 - 部材
6	継手部の間隔がせまい場合のネットフック	1 - 入れる
7	間隔調整 最小値<mm>	300
8	干渉の逃げ 子梁<mm>	50
9	干渉の逃げ スプライス<mm>	50
10	中央部割付け計算 端部距離<mm>	0

ネットフックを移動する場合は
【ネットフック】 - 【ピッチ移動修正】
でピッチを入力後マウスの方向で指定
してください。



ハンチのビルド材を展開し組立図を出力したい！ パラメーターで設定することが出来ます。

【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】 - 29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を『4-プレート展開』に設定しパラメーターを保存します。

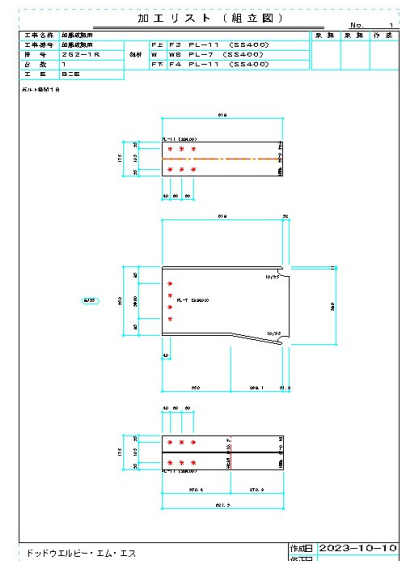
項目名称	設定値
25 梁側継手基準位置	2-梁芯
26 垂直ハンチ外基準	2-柱面
27 仕口に取り付くピン梁の位置	3-接続部材面(下位互換用)
28 垂直ハンチプレート展開 ロール材	2-鋼材・三角プレート展開
29 垂直ハンチプレート展開 ビルド材	4-プレート展開
30 鋼材・三角プレート位置(mm)	30
31 鋼材・プレート2枚位置(mm)	30
32 ウェブハンチ設定	【16, 0.4, 0.3】
33 垂直ハンチ合せ(mm)	125
34 欠配時側継手距離	1-実長
35 欠配時側継手位置	1-上面
36 梁欠配基準	1-梁欠配
37 けた梁高さ	3-柱芯
38 梁転び	4-垂直(梁)※開始側
39 フランジ角面取り基準	2-ウェブ板厚面
40 フランジ角面取り間隔(mm)	0

【加工図・型紙・帳表】 - 【加工指示書】 をクリックします。

【展開材】 をクリックし加工図を出力してください。

No	出力済み	区分	工区	階	節	部材名	符号名	サイズ	材質	全長	分類
1		ブケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-1L	BH-300x	SS400	650	<無>
2		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2L	BH-351	SS400	650	<無>
3		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2R	BH-351	SS400	650	<無>
4		ブケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-3L	BH-351	SS400	650	<無>
5		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-3R	BH-351	SS400	650	<無>
6		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4L	BH-351	SS400	650	<無>
7		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4R	BH-351	SS400	650	<無>
8		ブケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-1R	BH-377	SS400	650	<無>
9		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-1R	BH-400	SS400	650	<無>
10		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2L	BH-400	SS400	650	<無>
11		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2R	BH-400	SS400	650	<無>
12		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-3R	BH-400	SS400	650	<無>
13		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4L	BH-400	SS400	650	<無>
14		ブケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4R	BH-400	SS400	650	<無>

<パラメーター設定後>



部材材種が BH の場合、
マスター登録時にプレート展開部材
の設定をすることができ、
『1-パラメーター参照』以外の設定
をする場合はマスターの設定を
優先し展開方法が決まります。

プレート展開部材	1-パラメーター参照
ハンチWEB形状種類	1-パラメーター参照
梁側WEB幅	2-鋼材扱い
ハンチWEB梁側	3-プレート扱い(鋼材符号)
	4-プレート扱い(型紙図番)



ハンチ部分に三角プレートの設定をしたい場合は
パラメーターの設定【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】
28) 垂直ハンチプレート展開 ロール材、
29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を
『2. 鋼材・三角プレート展開』もしくは
『3. 鋼材・プレート2枚展開』に設定して頂き、ウェブ
切り込み位置の設定は 30) 鋼材・三角プレート位置(mm)、
31) 鋼材・プレート2枚位置(mm)で設定を行ってください。



S/F com-passのアカウント登録方法が知りたい！ アプリをダウンロードしてください。



ストアや QR コードからスマホやタブレットに S/F com-pass のアプリをダウンロードします。

『Google Play』



『Apple Store』



S/F com-pass アプリを起動し、スタート画面の**新規登録**をクリックします。



アカウント登録に使用する
メールアドレスを
送信します。



送られてきた URL に
アクセスし、パスワード
を設定します。



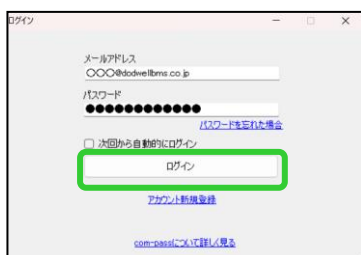
アカウント登録完了です。

REAL4 を開きます。

【出力】－【com-pass ファイルアップロード】をクリック。



別画面が開きますので、アプリのログイン時に設定した
メールアドレスとパスワードを入力しログインをクリック
します。



◆新規アカウント登録は REAL4 【com-pass ファイルアップロード】からも行えます。

その際のメールアドレスは、メール不達などのトラブルがある為、携帯キャリアメールの使用はお控えください。

フリーメールか PC メールの使用をお勧めします。

◆パスワードを忘れると再設定する必要があります。



S/F com-passのアップロード方法が知りたい！

REAL4からアップロードできます。

REAL4を開き、スマホやタブレットにアップロードしたい工事を開きます。

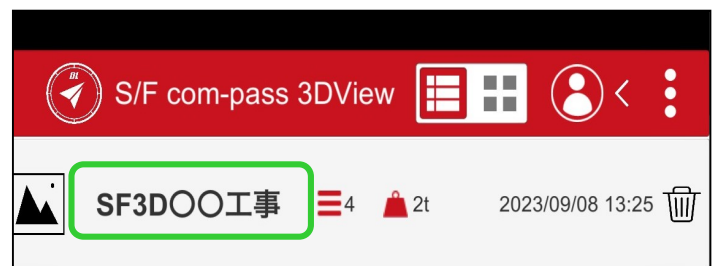
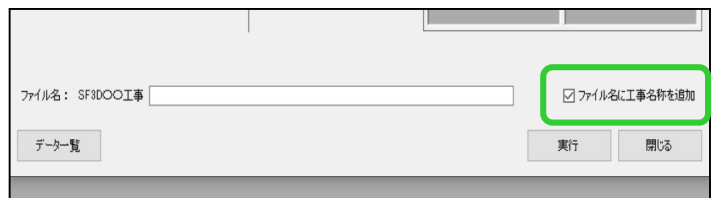
【出力】－【com-pass ファイルアップロード】をクリックします。



◆工事をアップロードする際、入力データを保存する必要があります。

出力したい項目に☒を入れ、**実行**をクリックします。
この時、左上の**ユーザーID**がスマホやタブレットのアドレスになっている事を確認してください。

◆【ファイル名に工事名称を追加】に☒を入れると、スマホやタブレット側でどの工事データが送られたかが確認できます。



◆出力できる工事は1工事のみにになります。

別工事を出力したい場合は、REAL4の【com-pass ファイルアップロード】内の**データ一覧**より出力済のデータを削除し、その都度工事をアップロードして下さい。

◆1つのアドレスを複数人で使用する場合、1人がログインしている間は他のスマホやタブレットからはログインできません。



S/F com-passの使い方が知りたい！

スマホやタブレットから詳細情報が確認できます。

S/F com-pass では

【視点切替】、【照会】、【検索】、【製品表示】【全体表示】

【設定】(回転や拡大縮小の速さ、色設定、投影方法、表示モード切替)

が確認できます。



【視点切替】

それぞれの視点から確認する事ができます。



〈前〉



〈後〉



〈上〉



〈下〉



〈左〉



〈右〉



〈左前〉



〈右前〉



〈左後〉



〈右後〉



【照会】

「製品符号」や「長さ」等、「製品単位」と「鋼材単位」で詳細情報が確認できます。

「製品」

プロパティ	
部品種類	
符号名	1C1-3
長さ(mm)	6326.31
重量(kg)	887.213
サイズ	
材質	
階高	GL
工区	○工区
建方	なし
塗装	なし
分類	なし

「鋼材」

プロパティ	
部品種類	本柱
符号名	2C1-2
長さ(mm)	2827.4
重量(kg)	226.475
サイズ	□-300x300x9
材質	BCR295
階高	2SL
工区	○工区
建方	なし
塗装	なし
分類	なし



【検索】

「キーボード入力」「カメラ」「タッチペン」で検索する事ができます。

製品符号を入力してください



「カメラ」では撮影した文字から検索する事ができます。



「タッチペン」では画面に直接指で書いた文字で検索する事ができます。

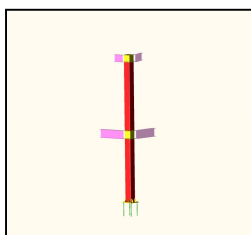


「虫メガネ」ではキーボード入力で「製品符号」と「鋼材符号」で検索ができます。



【製品表示】

「製品単位」で表示する事ができます。



◆製品表示中でも鋼材単位での【照会】はできます。

◆再度【製品表示】をタップすると製品表示が解除され、全体表示に戻ります。